

真実の友巻末ふろく

荒れた海辺



安西水丸

昭和17年7月、東京に生まれる。日大芸術学部美術学科卒。デビュー作「怪人二十面相の墓」代表作「青の時代」「汽車」。主著「東京エレジー」「青の時代」。現在、イラストレーター（フリー）。

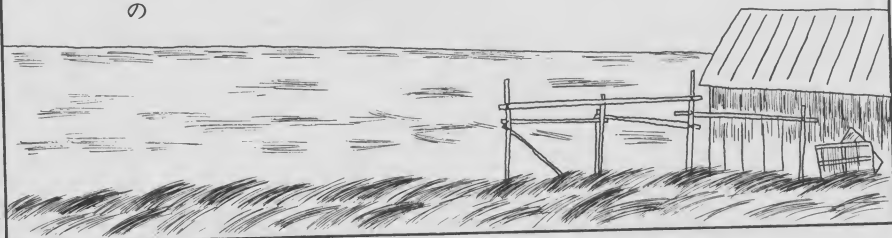
あおい蜜柑は海のおじ
くろい葡萄は山のおじ
あかい拓榴は人のおじ

海が光る



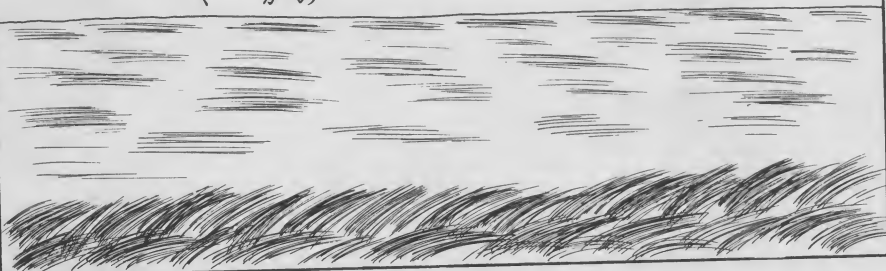
春の海は
まだつめたく

波は
ブルースビネルの
ように青い

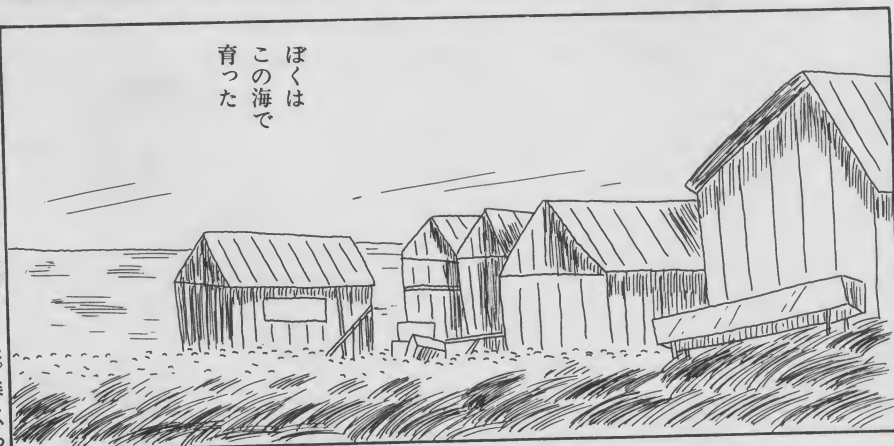


風が吹くと

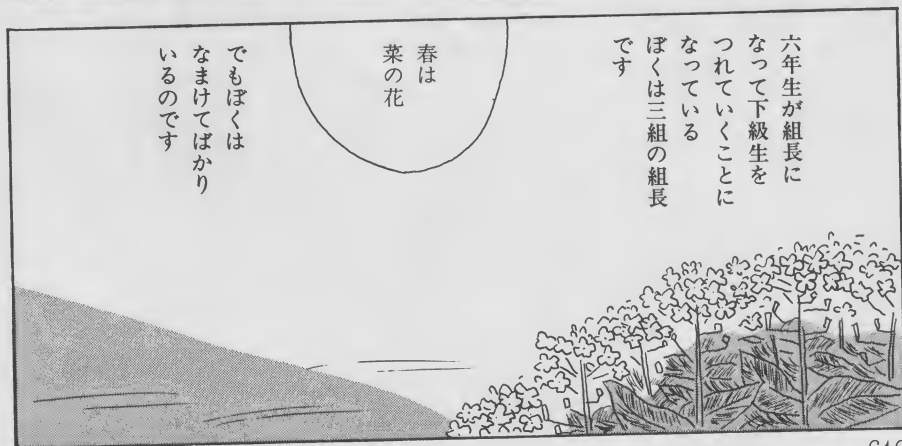
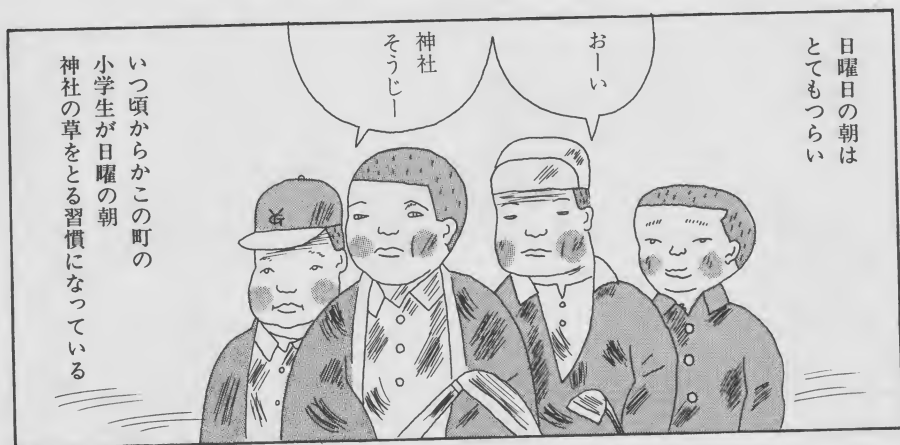
色とりどりの
セロハン紙が
海面で
めくれていく



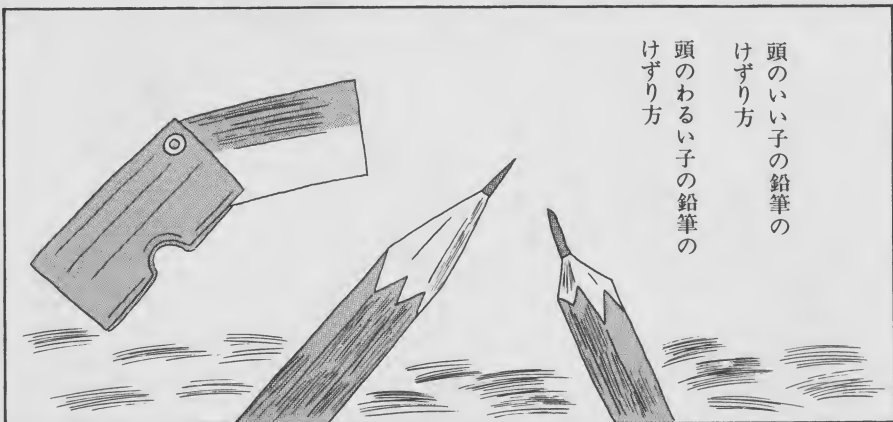
ぼくは
この海で
育った



嵐山光三郎さんに漫画を描かないかとすすめられて描いたのがガロでした。編集長は南伸坊さんでした。ぼくは三年間休みなく毎月16ページ描きました。楽しかったなあ。

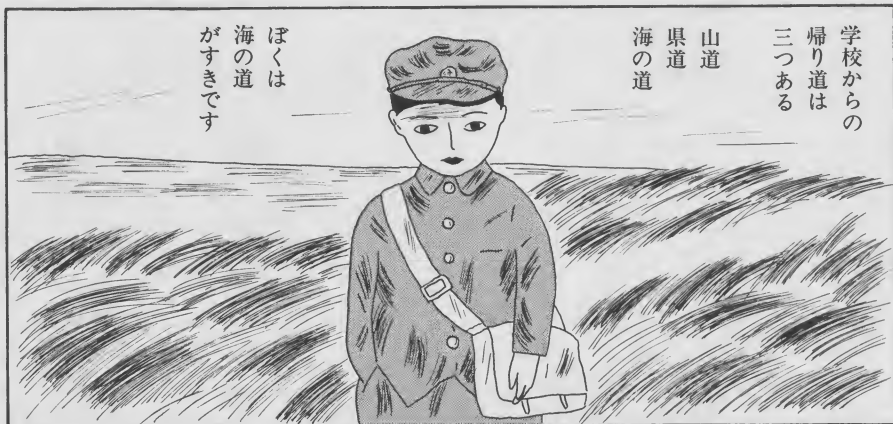


頭のいい子の鉛筆の
けずり方
頭のわるい子の鉛筆の
けずり方

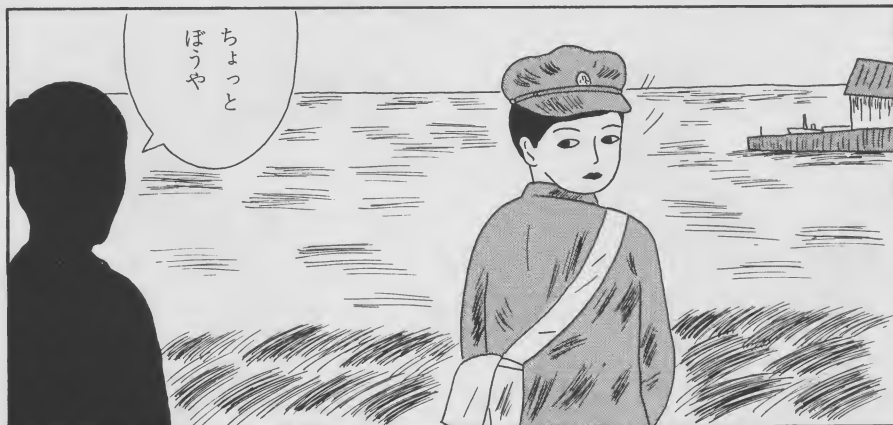


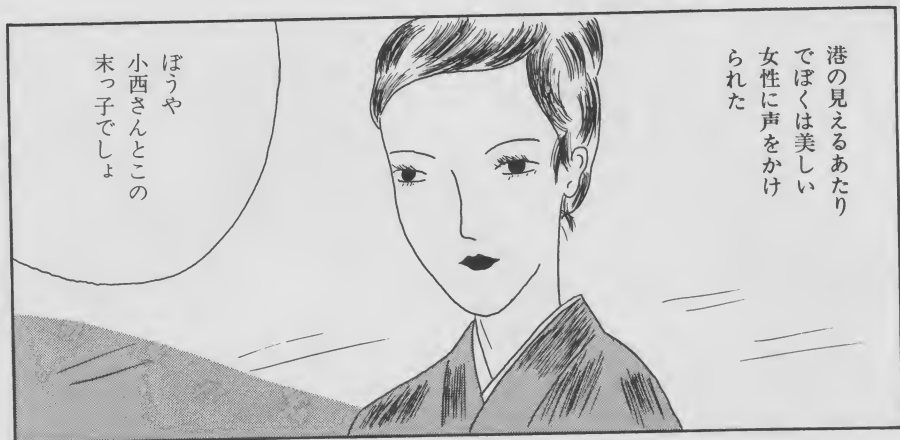
学校からの
帰り道は
三つある
山道
県道
海のだ

ぼくは
海のだ
がすきです

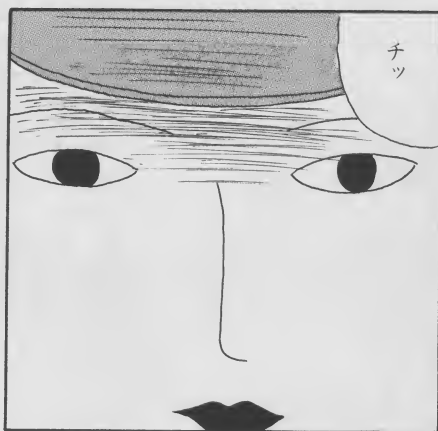


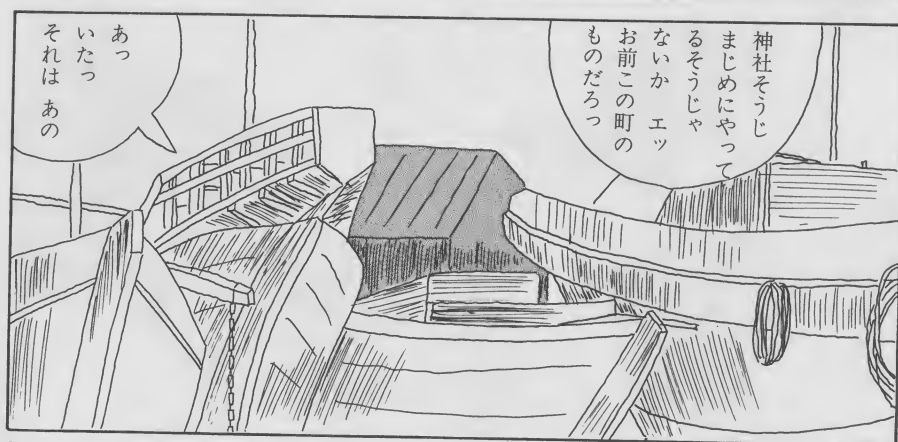
ちよっと
ぼうや

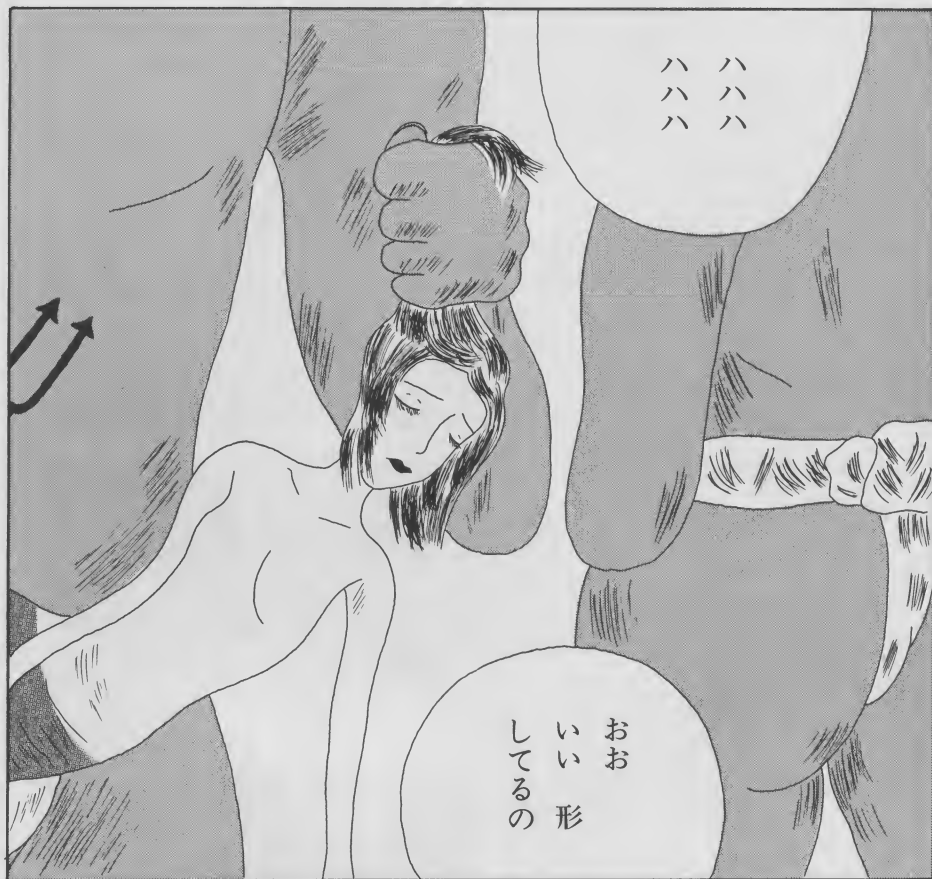






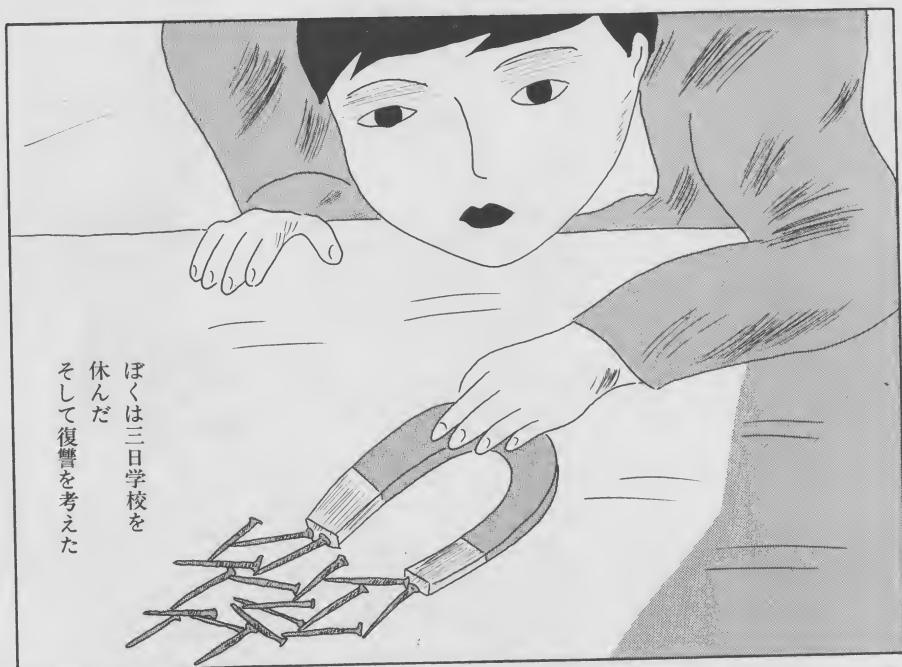




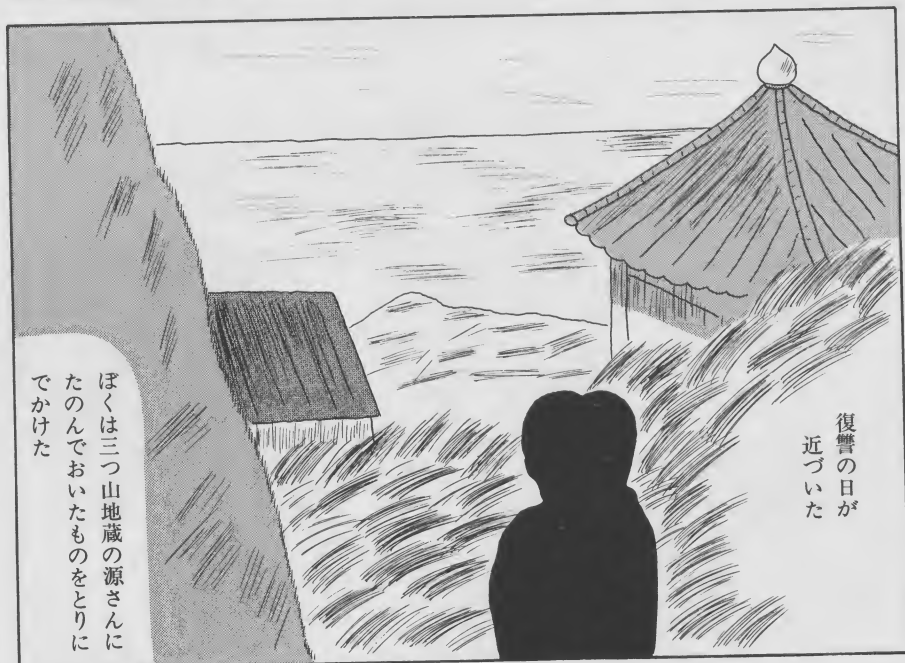








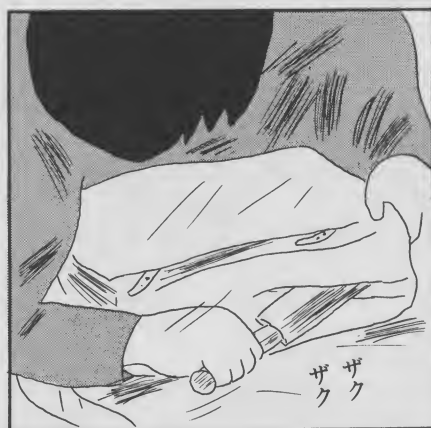
ぼくは三日学校を
休んだ
そして復讐を考えた



復讐の日が
近づいた

ぼくは三つ山地蔵の源さんに
たのんでおいたものをとり
に
でかけた





この春の
終業式はくは
また優等賞を
もらった

れんげ草が咲き
海が光る

